

障がい者の仕事を応援 福祉事業所 合同販売会・就労支援相談会



福祉事業所合同販売会・就労支援相談会は令和7年12月3日～4日の2日間、市役所で行われ、大勢の市民らが訪れました。

販売会には就労継続支援事業所のミッキーズ・ハウス、工房もくもく、スマイルセンタ―、あさがお、自立研修所ビーンズ、アルファワークス、フュージョン・アグリ、ふくちゃんに参加するなど、訪れた人たちは、交流しながら買い物を楽しんでいました。

相馬の魅力を1枚に 相馬の歴史・文化フォトコンテスト表彰式

相馬の歴史・文化フォトコンテスト表彰式は令和7年12月5日、千客万来館で開催され、関係者ら約20人が出席しました。

市内外から応募のあった38点の中から12点が入賞し、青田明子さん（南相馬市）の作品が最優秀賞に選ばれました。入賞作品は、今後、観光PRを目的に市観光協会ホームページや同協会パンフレットなどで活用される予定です。



親子で交流 親子ミニスポーツフェスティバル



親子ミニスポーツフェスティバルは令和7年12月6日、スポーツアリーナそうま第一体育館で開催され、約270人の親子が参加しました。

当日は、「ドッジボール」や1つの大きなパンツを親子で履いてリレーするオリジナル競技「デカパン競争」などを児童クラブごとのチームに分かれて対抗戦で行われました。参加した親子らは、大きな声援を受けながら、白熱した競技を繰り広げていました。

学校教育に関する顕著な功績をたたえる 文部科学大臣表彰報告

教育者表彰（文部科学大臣表彰）受賞報告は令和7年12月8日、市役所で行われ、受賞した向陽中学校の武口隆行校長が訪れました。

武口校長は「教員人生を支えていただいた皆さんの指導ご支援のおかげで受賞することができ、大変光栄です」と述べ、報告を受けた福地裕之教育長は、その功績をたたえました。



青少年の健全育成に尽力 知事表彰受賞報告

県青少年健全育成条例に基づき知事表彰受賞報告は令和7年12月9日、市役所で行われ、市少年剣道教室スポーツ少年団指導者の石田義広さん、市少年センター補導員の飛田るみ子さんが訪れました。

知事表彰は過去に県青少年育成県民会議会長表彰などを受賞後、5年程度経過した現在も継続して活動を行っている個人などに贈られるもの。報告を受けた立谷市長は、受賞をたたえました。



全国・国際大会での活躍を願う

スポーツ大会出場報告

▽バレーボール



スポーツ大会出場報告は令和7年12月5日、市役所で行われ、全国大会に出場する加藤沙菜選手、菅野由依選手、稲村元気選手、大槻姫愛選手が訪れました。選手らは、県バレーボール協会の推薦を受け、令和7年12月25日開催の全国大会に出場しました。※大会の成績は、予選リーグ出場でした。

▽軟式野球

スポーツ大会出場報告は令和7年12月10日、市役所で行われ、赤田恒星選手が訪れました。赤田選手は公益社団法人少年軟式野球国際交流協会宮城支部から代表選手として選出され、令和7年12月20日開催の国際大会に出場しました。※大会の成績は、ベスト16でした。



▽ソフトテニス



スポーツ大会出場報告は令和7年12月22日、市役所で行われ、全国大会に出場する菊地花音選手、松本倫佳選手が訪れました。選手らは、県ソフトテニス連盟の推薦を受け、令和7年12月26日開催の全国大会に出場しました。※大会の成績は、両選手が所属する福島選抜Aチームが第3位でした。

福祉事業を支援株式会社ADEKA

株式会社ADEKAとADEKA労働組合相馬分会による寄付は令和7年12月9日、市役所で行われました。

訪れたのは、相川雅司工場長、大越英紀ADEKA労働組合相馬分会事務長、阿部栄洋業務課長の3人。

寄付を受け取った立谷市長は「毎年の寄付ありがとうございます。孤独死対策などの高齢者支援のための資金として大切に使用させていただきます」と述べました。



おいしいイチゴを届ける

和田観光苺組合

和田観光苺組合の3人は令和7年12月9日、市役所を訪れ、イチゴ（とちおとめ、ゆうやけべりー）を立谷市長に届けました。

訪れたのは、齋川一朗同組合組合長、山中賢一郎和田いちごファーム代表、岩本孝さん。

齋川組合長は、「甘みの強いおいしいイチゴができました。多くの方に味わっていただきたい」と述べ、立谷市長は、届いたイチゴを早速ほお張っていました。



ひと足早いクリスマス 相馬愛育園 「みんなでメリークリスマス」



みんなでメリークリスマスは令和7年12月6日、相馬愛育園で開催され、市内の親子ら23組73人が参加しました。当日は、ペットボトルを素材としたミニツリーの制作のほか、職員によるミニコンサートなどが行われました。イルミネーションの輝きと楽器の音色によって、会場がクリスマスの雰囲気包まれるなど、参加した親子らは、ひと足早いクリスマスを楽しんでいました。

外国の皆さんとクリスマスを もう国際交流クリスマスを

国際交流クリスマス会は令和7年12月13日、総合福祉センターで開催され、親子ら約50人が参加しました。

当日は、外国人ボランティアと一緒に、クリスマスオーナメント作りや輪投げなどのゲームが行われました。

参加した子どもたちは、外国人ボランティアらに話しかけながら一緒にゲームに挑戦するなど、クリスマスの雰囲気を楽しんでいました。



相馬の魅力発信 ふるさと納税返 礼品お披露目会



ふるさと納税返礼品お披露目会は令和7年12月13日、相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」で行われました。

当日は、新たに返礼品として追加された「福とらのてっさ」などの振る舞いが行われたほか、同市場内に設置された「ふるさと納税自動販売機」の稼働が開始されました。訪れた人たちは、ふるさと納税の返礼品を通じて、相馬の新たな魅力に触れていました。

交通事故防止を呼び掛ける年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動

「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」期間中における街頭啓発は令和7年12月10日、エイトタウン相馬内で行われ、相馬地区交通安全協会東部支部会員や交通安全専門員ら約10人が参加しました。

市交通対策協議会の主催。参加者らは、買い物客ら一人一人にチラシや夜光反射材を配り、交通事故防止を呼び掛けていました。



瑞宝双光章を受章 佐々木久人さん

危険業務従事者叙勲受章報告は令和7年12月17日、市役所で行われ、瑞宝双光章を受章した佐々木久人さんが訪れました。

佐々木さんは、昭和49年に相馬地方広域市町村圏組合の消防士に採用され、平成26年に相馬消防署署長に赴任し防災機関との連携強化などに尽力するなど、地域の消防力の強化・発展に貢献しました。報告を受けた立谷市長は受章をたたえました。



令和8年初競り

相馬総合地方卸売市場



相馬総合地方卸売市場の初競りは1月5日、同市場で行われ、威勢の良い競り声が響きました。

初せりの式は水産部と青果部合同で行われ、水産部の加藤邦喜相馬魚類株式会社代表取締役と青果部の菊地洋一株式会社相馬青果代表取締役があいさつをしました。

参加した仲卸業者らは、熱心に品定めを行い、新年最初の魚や野菜を競り落としていました。

本格的なシーズン到来 青ノリ漁

相馬双葉漁業協同組合の青ノリの出荷作業は1月7日、尾浜地区にある同組合の集荷場で行われ、かごいっぱい詰められた青ノリが次々に運び込まれました。

当日は、45隻の漁船が朝に収穫した約1・2トンの青ノリを出荷。

収穫した青ノリは、色、つやの良さ、黒ノリの混入具合などによって等級が決められた後、取引され、県内外で販売されます。



誓いを新たに 新春のつどい



相馬市新春のつどいは1月7日、Nリゾート福島で開催され、市内各団体や企業の代表など約300人が参加しました。開会に先立ち、松川神楽保存会による松川神楽が披露され、太鼓や笛に合わせた勇壮な舞に、会場からは大きな拍手が送られました。

鏡開きを行った後、杉本智美市議会議長の音頭で乾杯し、新年のスタートを飾りました。参加者は、今年の抱負や展望などを語り合い、新たな発展を誓いました。

教職員の研究と実績の成果

県教職員研究論文表彰受賞報告

令和7年度県教職員研究論文表彰受賞報告は1月9日、市役所で行われ、桜丘小学校の木村裕之校長と向陽中学校の佐藤拓也主幹教諭が訪れました。

同表彰は、教職員の自主的な研究を奨励することによって、研究意欲や専門性を高め、教育の振興を図ることを目的に県が実施。

報告を受けた福地裕之教育長はその功績をたたえました。



防火への誓い新たに 市消防出初式



市消防出初式は1月11日、スポーツアリーナさうま第一体育館で開かれ、市消防団員と市女性消防隊員ら約300人が参加しました。

式では、鎌田重昭団長の訓示に続いて、立谷市長が「皆さんは地域の守り神としての誇りと自覚と認識を持つて、市民を守るために消防活動にまい進いただきたい」と訓示し、参加者は消火活動・防災への誓いを新たにしました。